

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
II 学びの循環のある地域を創る社会教育	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	1. 青少年の体験活動の充実	子ども会・ジュニアリーダーの養成	スポーツ・生涯学習課	集団行動の楽しさを体験し、単位子ども会での率先的活動者となるために必要な知識や技術を習得させる。	〔研修会〕 ① 初級リーダー研修会 2回(4月・11月) 計24名 ② 初級宿泊研修 2月(1泊2日) 20名 〔内容〕 ゲーム・レクリエーションの指導、創作活動、スポーツ活動、講話、演習等	0	○成果 子ども会育成連合会のジュニアリーダーが企画・運営して、ゲーム、レクリエーション、ダンスや創作活動等の指導をしている。それぞれのレベルに合わせた内容になっているほか、子ども会について学ぶ時間も取り入れ、充実した研修会となった。 ●課題 少子化等により、子ども会活動が衰退していることから、引き続き、子ども会会員に限らず、多くの子どもたちが参加できるように広く周知してリーダー養成に努めたい。	A	継続
		アドベンチャーキャンプ	スポーツ・生涯学習課	自然体験や創作活動等の体験活動を通して、豊かな心を育むとともに、様々な年齢の仲間と交流を深めることで、自主性や協調性を養い、各地域においてリーダーシップを発揮し、活動を率先して行うことのできる人材を育成する。	・事前説明会 7月21日(金) ・内容 創作活動(竹の食器作り)、カヌー体験、いかだ作り、キャンプファイヤー、ナイトハイク ほか	0	○成果 子ども会育成連合会のジュニアリーダーが運営にあたっていることから効果的な指導ができ、目的とした他の学校や異年齢の仲間達との交流を深めることができた。また、キャンプ中の食事は、基本的に参加者が野外炊飯することにより、協力することの重要性を体験でき、協調性や自主性が養われた。長期間にわたる日程のため、特に集団活動の重要性を体験させることができた。 ●課題 日程設定について、平日の昼の成人指導者の確保が厳しいため、土日祝日ははさむ等、成人指導者の配置を考慮した日程設定の検討が必要である。	A	継続	
		花巻市友好都市交流事業(友好都市)	スポーツ・生涯学習課	小学生の派遣を通し友好を深め、次代を担う青少年の育成を目的とし、交流の縁となった新渡戸傳、新渡戸一族の偉業による三本木原開拓の歴史を学ぶことにより、郷土理解を深める契機とする。	花巻市と友好都市を締結している神奈川県平塚市と三市の小学生が集う交流会として実施した。 内容はキャンプを主とし、新渡戸記念館や宮沢賢治記念館等の見学や自然散策、キャンプファイヤー、わんこそば大会などを実施した。	514,822	○成果 交流生は、交流の縁となった新渡戸傳や十和田市の開拓の歴史などを学び郷土理解を深め、また、花巻市の施設見学や平塚市の小学生との交流を通して、他市の文化などにも触れ貴重な場となっている。さらに、この交流の特色であるキャンプでは、平塚市・花巻市の児童との班別活動をおし、自主性・協調性等を学ぶ場となっている。 ●課題 例年、花巻市で開催されている事業であるが、花巻市のご好意に甘んじることなく、引き続き効果的な交流事業として継続したい。	A	継続	
		日本三大開拓地小学生交流	スポーツ・生涯学習課	三市町の小学生の交流を通して、次代を担う青少年の育成を目的とする。また、郷土の開拓の歴史などを学び郷土理解を深める契機とする。	宮崎県川南町、福島県矢吹町、本市の輪番制による受入事業として実施している。 今年度は福島県矢吹町で実施され、矢吹原土地改良施設、ムシテックワールド、猪苗代湖、野口英世記念館の見学をするなど交流を深めました。	839,730	○成果 7月25日に十和田市を児童12名全員で出発し、7月28日に帰って来るまで、特に病氣・怪我等もなく、日程どおり交流してきました。 参加児童は、矢吹町についてはもちろん、本市の開拓の歴史について初めて知ることも多く、郷土理解を深める場となっている。また、他町の児童とのふれあいのなかで、自主性や協調性など多くのことを学んでおり、今後も継続したい。 ●課題 小学生交流として今後も継続し、多数の応募者がある魅力のある事業にしたい。	A	継続	
		土佐町親善交流事業(姉妹都市)	スポーツ・生涯学習課	相互交流を通して次代を担う青少年の育成を目的とし、風土・習慣などの違いを理解するとともに、交流の縁となった大町桂月の偉業を学ぶことなどで郷土理解を深める契機とする。	例年、夏(8月)は高知県土佐町で、冬(2月)は本市での小学生及び受入家庭との相互交流(ホームステイ)を行っている。 ・8月…大町桂月館見学、早明浦ダム見学、川遊び、桂浜及び桂月文学碑見学他 ・2月…スキー体験、施設見学、十和田湖冬物語見学、裂織体験他	1,345,414	○成果 交流事業実施後の感想文から、受入家庭を中心とする地域の人々との交流を通し、楽しい思い出のなかで心の成長の場となっていることが伺える。また、大町桂月の偉業を学んだことは、初めて知ること驚きをもって受け止めた児童も多く、郷土理解の目的は達成されたと解釈できる。 ●課題 夏季に3つの交流事業(派遣)が実施されるため、派遣児童の確保に苦慮している。	A	継続	

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																																																																		
II 学びの循環のある地域を創る社会教育	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	2. 地域が支えるキャリア教育の充実	とわだhigh schoolフェスティバル	スポーツ・生涯学習課	地域の高等学校の特色を生かしたプログラムを行うことを通して、その専門性に触れながら、将来の夢を考えるきっかけづくりとするとともに、子どもの知的探究心を育む。	十和田工業高校～小学生のためのものづくり教室～ ・平成29年9月2日(土)9:00～12:00 ・レーザー彫刻による光るフォトパネル(男子8名、女子10名 計18名) 三本木高校～小学生のための科学体験教室～ ・平成29年9月3日(土)9:30～11:30 ・カチャカチャ発電、化学でお絵かき(男子10名、女子8名 計18名) 三本木農業高校～小学生のための食と文化の体験教室～ ・平成29年10月7日(土)9:00～12:00 ・焼肉のタレづくり(男子11名、女子3名 計14名) 十和田西高校～小学生のための奥入瀬溪流魅力発見～ ・平成29年10月21日(土)9:00～13:00 ・奥入瀬溪流(石ヶ戸～雲井の滝)探検(男子5名、女子10名 計15名)	96,553	○成果 高校側の熱心な協力により、各校のプログラムとも満足度はとても高かった。子どもたちにとって、将来を考える上での貴重な体験の場となった。また、高校生にとっては、キャリア発達を促す機会にもなった。 ●課題 次年度は、事業継続3年目となる。各高校との連携を大切にしながら、子どもたちが更に魅力を感じるプログラムを企画していく必要がある。	A	継続																																																																																	
		3. 子どもの読書活動の充実	十和田市家読講演会	スポーツ・生涯学習課	平成22年に市で毎月第4日曜日を「十和田市家庭読書の日」に制定したことに伴い、家庭での読書の楽しさを市民に周知し、親子が共に本に親しむことで、心の豊かさを育てるために実施する。	講演テーマ:「ABAアナウンサーのおはなし広場」 講師 :青森朝日放送アナウンサー 稲葉千秋さん 服部未佳さん 講演内容 : プロのアナウンサーによる読み聞かせの実演と読み聞かせのポイントアドバイス 場所 :深持小学校 体育館	41,232	○成果 深持小学校PTA研修会と合同開催したことにより、子どもの読書推進関係者以外に児童、保護者にも直接「うちどく」の大切さを理解していただくことができた。 ●課題 講演会単独実施では参加者の募集が厳しく、前年度の青少年育成市民会議から今年は深持小学校PTA研修会と連携しての実施となった。今後も学校や他団体との連携を検討していかなければならないと考える。	A	継続																																																																																	
		図書資料の収集・提供	市民図書館	市民の教養、調査研究等に資するため、図書等の必要な資料を収集、整理、保存し、市民に提供する。	(1)蔵書数・利用状況 (単位:人、冊、%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開館日数</th> <th>蔵書数</th> <th>登録者数</th> <th>うち新規登録</th> <th>利用冊数</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館内一般</td> <td></td> <td>110,407</td> <td>23,816</td> <td>935</td> <td>163,990</td> <td>52,006</td> </tr> <tr> <td>館内児童</td> <td></td> <td>36,845</td> <td>2,391</td> <td>323</td> <td>39,861</td> <td>10,294</td> </tr> <tr> <td>館外(特)</td> <td></td> <td>16,112</td> <td></td> <td></td> <td>17,850</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>337</td> <td>163,364</td> <td>26,207</td> <td>1,258</td> <td>221,701</td> <td>62,300</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>341</td> <td>156,946</td> <td>24,996</td> <td>1,561</td> <td>232,994</td> <td>66,193</td> </tr> <tr> <td>前年度比増減</td> <td>▲4</td> <td>6,418</td> <td>1,211</td> <td>▲303</td> <td>▲11,293</td> <td>▲3,893</td> </tr> <tr> <td>前年度比増減率</td> <td>▲1.2%</td> <td>4.1%</td> <td>4.8%</td> <td>▲19.4%</td> <td>▲4.8%</td> <td>▲5.9%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>館内一般</th> <th>館内児童</th> <th>館外セット</th> <th>公民館図書室</th> <th>計</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>購入図書</td> <td>4,393</td> <td>1,565</td> <td>278</td> <td>59</td> <td>6,295</td> <td>5,627</td> </tr> <tr> <td>購入視聴覚資料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>166</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>受入寄贈図書</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,000</td> <td>1,694</td> </tr> </tbody> </table>	区分	開館日数	蔵書数	登録者数	うち新規登録	利用冊数	利用者数	館内一般		110,407	23,816	935	163,990	52,006	館内児童		36,845	2,391	323	39,861	10,294	館外(特)		16,112			17,850		計	337	163,364	26,207	1,258	221,701	62,300	H28年度	341	156,946	24,996	1,561	232,994	66,193	前年度比増減	▲4	6,418	1,211	▲303	▲11,293	▲3,893	前年度比増減率	▲1.2%	4.1%	4.8%	▲19.4%	▲4.8%	▲5.9%		館内一般	館内児童	館外セット	公民館図書室	計	H28	購入図書	4,393	1,565	278	59	6,295	5,627	購入視聴覚資料					166	320	受入寄贈図書					1,000	1,694	13,818,073	○成果 前年度に比較して、利用者数が3,893人の減、利用冊数は11,203冊の減となったがこれは図書館システム更新に伴う10日間の休館が主な要因と考えられる。そのことを勘案すれば利用者数、利用冊数は、ほぼ現状を維持している。 ●課題 利用者の多様な要望に応えるために、他の公共図書館等とのネットワークサービスを活用した幅広い図書資料のサービス提供と利用しやすい図書館運営に努めていく必要がある。
区分	開館日数	蔵書数	登録者数	うち新規登録	利用冊数	利用者数																																																																																					
館内一般		110,407	23,816	935	163,990	52,006																																																																																					
館内児童		36,845	2,391	323	39,861	10,294																																																																																					
館外(特)		16,112			17,850																																																																																						
計	337	163,364	26,207	1,258	221,701	62,300																																																																																					
H28年度	341	156,946	24,996	1,561	232,994	66,193																																																																																					
前年度比増減	▲4	6,418	1,211	▲303	▲11,293	▲3,893																																																																																					
前年度比増減率	▲1.2%	4.1%	4.8%	▲19.4%	▲4.8%	▲5.9%																																																																																					
	館内一般	館内児童	館外セット	公民館図書室	計	H28																																																																																					
購入図書	4,393	1,565	278	59	6,295	5,627																																																																																					
購入視聴覚資料					166	320																																																																																					
受入寄贈図書					1,000	1,694																																																																																					

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																				
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育の充実	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	3. 子どもの読書活動の充実	「家庭読書の日」の普及・啓蒙	市民図書館	家庭において子どもが本に親しむ機会を創り出すと共に、大人が子どもと一緒に読書を楽しむことで、子どもの読書への興味と関心を引き出すことを目的としている。	・「家庭読書の日」にすすめる図書館資料の展示コーナーの設置 ・他団体との連携による「絵本の読み聞かせ」「おはなしのゆうびん屋さん」及び「読書感想文コンクール」等の開催	0	○成果 おはなし会など各種事業の実施により、家庭での読書啓発に役だっている。その結果、児童書の貸出増にもつながり、徐々にではあるが「家庭読書の日」が定着しつつある。 ●課題 普及、啓発には継続性が必要なことから、現在の事業を継続しながら、さらに「家庭読書の日」の啓発方法を検討していく必要がある。	A	継続																			
		子ども司書養成講座	市民図書館	図書館や司書の仕事を学び、友達や家族に読書の楽しさや素晴らしさを伝える“子ども司書”を養成することを目的とする。	図書館業務の体験を通して司書の知識や技術等を学び、読書の楽しさと素晴らしさを広め、本と人との橋渡しを手助けする読書活動推進の担い手として、子ども司書を養成する。	11,830	○成果 子どもたちに図書館の機能や司書業務について知ってもらえる機会であり、図書館への理解を深めることに有効なことから継続して実施したい。 ●課題 各学校との連携を密にしなが、当該講座について周知を徹底し、参加者の増を図り読書に親しむ子どもたちを増やす必要がある。また、他事業との関連性も考慮し、内容を検討する必要がある。	A	継続																				
		子どもピリオパバトル	市民図書館	発表者と参観者のコミュニケーションや知識共有の場となり、本のおもしろさや魅力を知り、読書のきっかけをつくり、図書館利用の活性化につなげることを目的とする。	発表者が紹介した本について、参加者が質問を行った後、「どの本が一番読みたくなったか？」を全員が投票して『チャンプ本』を決定する。 ①第7回 参加者 発表者10名、参観者 一般 19名・児童 3名 合計 32名 ②第8回 参加者 発表者 4名、参観者 一般 20名 合計 24名	24,374	○成果 幅広い年齢層の方が参観され活発なディスカッションが行われたことにより、読書及び図書館への関心を高められた。 ●課題 冬休みに開催(第8回)の申込者が募集定員の半分の5名(発表当日1名欠席)となり、事業の周知方法等について検討する必要がある。	A	継続																				
		おはなし会等の開催	市民図書館	絵本や紙芝居の読み聞かせ等で、色々なおはなしに触れ、読書の楽しさを知っていただくことを目的とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>月日</th> <th>場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・移動おはなし会</td> <td>7月4日</td> <td>第四白菊保育園</td> <td rowspan="3">102名</td> </tr> <tr> <td>7月18日</td> <td>さくら保育園</td> </tr> <tr> <td>7月25日</td> <td>小さな森保育園</td> </tr> <tr> <td>・夏・冬休みおはなし会</td> <td>7月・12月</td> <td>市民図書館</td> <td>90名</td> </tr> <tr> <td>・手作り製本教室</td> <td>11月26日</td> <td>市民図書館</td> <td>11名</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	月日	場所	参加者数	・移動おはなし会	7月4日	第四白菊保育園	102名	7月18日	さくら保育園	7月25日	小さな森保育園	・夏・冬休みおはなし会	7月・12月	市民図書館	90名	・手作り製本教室	11月26日	市民図書館	11名	20,000	○成果 移動おはなし会、夏・冬休みおはなし会及び手作り製本教室を開催し、読書の楽しさを知る機会を提供し、図書館に親しみを持ってもらった。 ●課題 参加者が一層楽しめる“おはなし会”とするため、今後、読み聞かせボランティア等の活用も検討しながら、開催内容の充実を図る必要がある。	A	継続
		事業名	月日	場所	参加者数																								
・移動おはなし会	7月4日	第四白菊保育園	102名																										
	7月18日	さくら保育園																											
	7月25日	小さな森保育園																											
・夏・冬休みおはなし会	7月・12月	市民図書館	90名																										
・手作り製本教室	11月26日	市民図書館	11名																										
図書のセット貸出	市民図書館	図書の貸出を希望する幼稚園、保育園、小・中学校及び各種施設に主に月1回の頻度で図書のセット貸出を行い、子どもの読書活動の啓発を図る。	・セット貸出(公用車での配本) 34箇所 (幼稚園、保育園、仲よし会等 34箇所) ・セット貸出(団体による来館) 11箇所 (小学校6箇所 中学校1箇所 老健施設等4箇所)	0	○成果 幼稚園、保育園、小・中学校及び各種施設に対して定期的に配本・交換される仕組みが好評を得ており、子どもの読書活動の啓発に繋がっている。 ●課題 返却交換時の未返却を削減するため、貸出先での取扱い方法の周知に努めながら、利用施設数の拡大を図る必要がある。	A	継続																						

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																																																														
II 学びの循環のある地域を創る社会教育	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	4. 地域全体で子どもを育む活動の充実	放課後子ども教室推進事業	スポーツ・生涯学習課	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強や文化活動、地域住民との交流等の取り組みを実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	1 運営委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期 8月、3月 ・開催回数 2回 ・運営委員 9名 2 各放課後子ども教室 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>教室名</th> <th>実施回数</th> <th>対象者数</th> <th>申込者数</th> <th>延べ参加者数</th> <th>参加率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>三本木放課後子ども教室</td> <td>54</td> <td>360</td> <td>11</td> <td>375</td> <td>3.06%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>北園放課後子ども教室</td> <td>51</td> <td>301</td> <td>-</td> <td>1,468</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>東放課後子ども教室</td> <td>58</td> <td>271</td> <td>16</td> <td>475</td> <td>5.90%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>下切田放課後子ども教室</td> <td>30</td> <td>14</td> <td>7</td> <td>185</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>藤坂放課後子ども教室</td> <td>31</td> <td>137</td> <td>20</td> <td>516</td> <td>14.60%</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>高清水放課後子ども教室</td> <td>50</td> <td>32</td> <td>7</td> <td>308</td> <td>21.88%</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>深持放課後子ども教室</td> <td>109</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>872</td> <td>93.33%</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>ちとせ放課後子ども教室</td> <td>49</td> <td>198</td> <td>39</td> <td>943</td> <td>19.70%</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>東公民館放課後子ども教室</td> <td>19</td> <td>-</td> <td>6</td> <td>76</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>451</td> <td>1,328</td> <td>120</td> <td>5,218</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※参加率＝申込者数/対象者数	No.	教室名	実施回数	対象者数	申込者数	延べ参加者数	参加率	1	三本木放課後子ども教室	54	360	11	375	3.06%	2	北園放課後子ども教室	51	301	-	1,468	-	3	東放課後子ども教室	58	271	16	475	5.90%	4	下切田放課後子ども教室	30	14	7	185	-	5	藤坂放課後子ども教室	31	137	20	516	14.60%	6	高清水放課後子ども教室	50	32	7	308	21.88%	7	深持放課後子ども教室	109	15	14	872	93.33%	8	ちとせ放課後子ども教室	49	198	39	943	19.70%	9	東公民館放課後子ども教室	19	-	6	76	-		計	451	1,328	120	5,218		3,066,490	○成果 実施教室の増により、昨年度を大きく上回る参加者数となった。また、高清水小学校では仲よし会との合同プログラムを行った。普段は別々に活動している仲よし会と放課後子ども教室だが、スポーツ吹矢等のレクリエーションをともに楽しむ様子が見られた。 ●課題 今後仲よし会との一体型プログラムを行う教室を増やすに当たり、仲よし会や学校、地域との連携体制を明確にしていく必要がある。	A	継続
		No.	教室名	実施回数	対象者数	申込者数	延べ参加者数	参加率																																																																															
		1	三本木放課後子ども教室	54	360	11	375	3.06%																																																																															
		2	北園放課後子ども教室	51	301	-	1,468	-																																																																															
3	東放課後子ども教室	58	271	16	475	5.90%																																																																																	
4	下切田放課後子ども教室	30	14	7	185	-																																																																																	
5	藤坂放課後子ども教室	31	137	20	516	14.60%																																																																																	
6	高清水放課後子ども教室	50	32	7	308	21.88%																																																																																	
7	深持放課後子ども教室	109	15	14	872	93.33%																																																																																	
8	ちとせ放課後子ども教室	49	198	39	943	19.70%																																																																																	
9	東公民館放課後子ども教室	19	-	6	76	-																																																																																	
	計	451	1,328	120	5,218																																																																																		
学社融合事業「ゆかた着付け教室」	十和田湖公民館	高校生にゆかた着付けの学習機会を提供することにより、日本の伝統や文化を伝承するとともに、学習成果を今後の学校生活や生涯学習に活かして貰う。	5月10日 着付け前の基礎知識 (ゆかたの部分名称、小物の名称) 5月24日 ゆかたの着方、たたみ方、補正の仕方 6月14日 半巾帯の結び方 6月28日 // 7月5日 総仕上げ 講師 高田 チャ子氏	30,000	○成果 参加した生徒からは、文化祭や秋まつりの流し踊りなどの学校行事でゆかたを着る機会に役立てたいとの感想が寄せられた。 ●課題 学校行事や部活動などと調整をする必要がある。	A	継続																																																																																
学社融合事業「子ども物づくり教室」	十和田湖公民館	子ども達が、陶芸による物づくりの体験学習を通して、古くからの伝統や文化を学ぶとともに、その学習成果を今後の学校教育や生涯学習に生かして貰う。	各地区で陶芸教室の講師をしている奥山絃氏から、陶芸の基礎学習を以下のとおり実施した。なお、素焼き作業、本焼き作業については講師が実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・法奥小学校 作品制作 7月3日・4日 釉薬塗り9月6日 ・沢田小学校 作品制作 7月6日・7日 釉薬塗り9月21日 ・十和田湖小学校 作品制作7月21日・22日 釉薬塗り9月20日 ・第一中学校 作品制作 8月8日 釉薬塗り10月20日 ・十和田湖中学校 作品制作 7月14日 釉薬塗り9月20日 	254,000	○成果 公民館と小学校が連携した学社融合事業として、13年連続で開催した。陶芸を初めて体験する子どもがほとんどだったが、講師の指導を受けてお皿や湯飲みなどの作品づくりに熱心に取り組んでいた。制作した陶芸作品は十和田湖公民館まつりで展示をし、来場者から好評を得た。 次年度も各学校と連携して開催したい。	A	継続																																																																																
5. 家庭教育支援の充実	みなみ食育教室	南公民館	食育の普及啓発事業の一環として、家庭における食育の推進のために、正しい食習慣を学ぶことによって、健全な食生活の実現を目指す。	5月18日(木) コーヒーの効能・効果について学ぼう 7月13日(木) 夏野菜を使った料理・お話 9月27日(水) 施設見学(ふるさと出前きらめき講座)	12,000	○成果 夏野菜を使用し簡単な調理方法や野菜の保存方法、食の安全性など参加者に食育の大切さを学んでいただいた。 当該講座について、参加者より、アンケート調査で高い評価をいただくことができた。 ●課題 アンケート調査で参加者から寄せられた意見・要望を参考にして、参加者から一層喜ばれる魅力ある講座内容にして行く必要がある。	A	継続																																																																															

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要						経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
					学校名	開催日	テーマ	講師名	講師	参加人数					
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	学校・家庭・地域の協働による未来を担う人材の育成	5. 家庭教育支援の充実 十和田市家庭教育応援事業	スポーツ・生涯学習課	講話やワークショップを通じて、子どもの育ちにおける家庭教育の重要性、また大人と子供の関わりについて理解を深め、参加者がともに学び合うための学習機会を提供する。	1	三本木小学校	平成29年6月27日(火)	親子コミュニケーションって何？	神戶美久子(十和田市教育センター)	長尾 慶子	51.9	192,946	○成果 昨年度より1回増の実施となった。学校の保健委員会主催の健康会議等と同時開催の学校が多く、保護者と子どもが同じ話題について考えるよい機会となった。 ●課題 子どもと保護者が対象の講演では、低学年にも理解できる内容や話し方が求められる。講演によっては、低学年には少し難しかったのではという意見も聞かれた。今後は、より一層対象を考慮した講師選定や打ち合わせが必要である。	A	継続
					2	両内小学校	平成29年6月29日(木)	ゲームやテレビ中心の生活にしようなら！	三戸野宮公民館(兼)藤岡小中一貫校教育推進班	馬場 幸治	4.3				
					3	ちとせ小学校	平成29年6月29日(木)	職業プログラム	青森県教育庁生涯学習課(兼)職業プログラム	石川 幸治(兼)アビゲール	7.6				
					4	西小学校	平成29年6月30日(金)	ことばはこころ	八戸学院大学短期大学部ライオンズ学会	佐木 典子	2.6				
					5	高滝水小学校	平成29年6月30日(金)	親子俳句学習会	青森県立七戸高等学校	宮内 香室	5.8				
					6	甲斐中学校	平成29年7月5日(木)	情報モラルについて	八戸学院大学短期大学部ライオンズ学会	馬場 祥次	3.4				
					7	松蔭小学校	平成29年7月6日(木)	睡眠の重要性について	八戸学院大学短期大学部ライオンズ学会	佐藤 千恵子	2.4				
					8	大深内中学校	平成29年7月13日(木)	情報モラルについて	青森県教育庁青森県警察本部	宮野 幸一(兼)サムエル	4.6				
					9	四和中学校	平成29年7月13日(木)	家庭や地域社会に求められるコミュニケーションについて	青森県立保健大学短期大学部警察科	川内 規会	7.2				
					10	東中学校	平成29年7月19日(木)	「情報モラルのあり方」について	青森県教育庁青森県警察本部	宮野 幸一(兼)サムエル	3.25				
					11	第一中学校	平成29年8月9日(木)	七宝焼き教室		乙供 亮子	1.4				
					12	東小学校	平成29年10月6日(金)	生活リズムをかんがえよう～ゲームとことばから～	八戸学院大学短期大学部ライオンズ学会	三浦 文恵	4.24				
					13	第一中学校	平成29年10月11日(木)	コケ玉づくりワークショップ		奥入瀬 久美子(兼)上野	6.3				
					14	下切小学校	平成29年10月27日(金)	子どもの人権と学力がある、とっておきの方法	八戸学院大学短期大学部警察科	坂本 弘子	3.3				
					15	南小学校	平成29年12月1日(金)	情報モラルについて	青森県教育庁青森県警察本部	宮野 幸一(兼)サムエル	4.7				
					16	藤原小学校	平成29年12月1日(金)	生活習慣と学力(知)、心(徳)、体(体)	八戸学院大学短期大学部ライオンズ学会	佐藤 千恵子	4.2				
					17	法典小学校	平成29年12月5日(火)	子どもの心を引き出し、成長させる魔法の呪い方	青森県立十和田高等学校	沼田 久美	3.4				
					18	四和小学校	平成29年12月6日(木)	体の健康 姿勢について考えよう！	十和田市健康増進部健康推進班	岡山 淳子	8.4				
一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時期に応じた学習機会の充実	寺子屋「稲生塾」	スポーツ・生涯学習課	先人の開拓精神や故郷の良さを考えることにより、子どもたちの郷土愛をくむとともに、将来の十和田市を支える人づくりを目指す。	○第1回 三本木原の開拓(平成29年6月25日 東公民館・稲生川周辺)～稲生川を探検しよう～ ・開講式、稲生川と十和田市開拓の歴史・稲生川の歴史探検 ○第2回 開拓の夢(平成29年7月15日 称徳館・交流館) ～馬と人の長い歴史～ ・馬の産地十和田市の歴史、称徳館の見学、語り部体験 ・からくり貯金箱づくり ○第3回 開拓のまち！とわだの魅力発信(平成29年7月23日 市民交流プラザ) ～おいしい特産品を知ろう～ ・十和田市の特産品を使った調理体験・十和田産PR体験 ○第4回 おもてなしの心(平成29年9月30日 市民交流プラザ) ～華道を体験しよう～ ・華道の作法や心得について・心を耕す華道体験 ○第5回 アートのまち！とわだ(平成29年10月14日 現代美術館、市民交流プラザ) ～まちのアートを見つけよう～ ・現代美術館の見学・まち中フロッタージュ、アート発見マップづくり ○第6回 開拓の心！進化する伝統(平成29年11月11日 市民交流プラザ) ～きみがらスリッパ工芸体験～ ・きみがらスリッパの話、ミニ草履作り・開講式 ※稲生塾作品展示 十和田湖公民館(11月)市民交流プラザ(1月)						370,919	○成果 三本木原の開拓から現在の十和田市にいたるまでの過程を体験的に学ぶことができるように、講座全体のストーリー性を大切にすることで、魅力ある事業づくりにつながってきている。 ●課題 子どもたちが、楽しみながら学びを深めていくことができるように、今年度の反省を踏まえた体験活動の充実と地域の教育資源の効果的な活用に取り組む必要がある。	A	継続	

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育の充実	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時期に応じた学習機会の充実	とわだ子ども議会	スポーツ・生涯学習課	議会を模擬体験することにより、子どもたちに議会や行政の仕組みを知ってもらうとともに、質問を通して自分たちの住んでいる十和田市について考えることにより、郷土を愛する心情をはぐくむ。	市内の小学6年生を対象に議員を選出し、実際に議場で質問等を行い、議会を模擬体験する。 5月25日(木) 子ども議員の募集 ～6月5日(月) 6月 8日(木) 子ども議員の決定 6月17日(土) 子ども議員による勉強会 6月28日(水) 質問事項の提出 7月 3日(月) 答弁書作成及び調整 ～7月14日(金) 7月26日(水) 子ども議員準備・リハーサル 7月27日(木) とわだ子ども議会 ◇ 9:20 開会 ◇ 12:00 閉会	18,400	○成果 十和田市の将来等を考えた質問や提案を通して市の仕事や議会の仕組みを理解する機会になった。 ●課題 過去との類似や重複する質問が多いため、一定程度のテーマのグループを作るなど検討していきたい。	A	継続
		十和田市少年少女発明クラブ	南公民館	創作活動を通して、子ども達に豊かな発想力と着想を具体化するたくましい構想力を育て、アイデアを生かした創造の喜びを体得させ、夢や希望にあふれた心豊かな人格の形成を図る。	○ドリーム班(小学校3・4年生)…全19回 親子製作(ころころうさぎ)、びよこびよこ、紙タワー、よちよちロボ、アイデア作品(工作、夢の絵)、浮沈子のひみつ、電気と光、甲虫ロボ、スモウロボ、動く昆虫や小鳥たち ○エジソン班(小学校5年生～中学校3年生)…全25回 親子製作(風力発電工作)、木工製作(アゲハ)、電気工作(信号機)、自由工作(工作、夢の絵)、県出前授業、アイデア作品(私の考えた公園)、ロボット製作、クラブロボコン、県ロボコン練習、県ロボコン	1,011,810	○成果 南教室と東教室で同じ教材を製作することにより、都合で参加できない部員もあらかじめ予定を立ててどちらかに参加できるようにしているため、欠席者も少なく作品もしっかり完成でき満足していた。 第8回全国チャレンジ創造コンテスト全国大会に県代表として出場することが出来た。 ●課題 アイデア作品やロボコン大会のロボット製作等に時間がかかり、子どもたちの発想力の向上を図ることが十分ではなかった。 楽しい講座、良い作品づくりを求めるのは勿論であるが、将来の人間づくりも考えて、しつけや挨拶、仲間作りの指導も継続していきたい。	A	継続	
		夏休みプチシェフみなみ	南公民館	健全な食生活の実現を目指す食育の普及啓発事業の一環として、子どもたちが食事について学んだことや調理体験で得た楽しみや喜びを実生活にいかし、食事や健康に気遣う心を培う。	7月24日(月) ・ひんやりおいしい♡ アイスクリーム作り 7月25日(火) ・夏に食べたいいぶるんゼリー作り	12,000	○成果 参加者は調理体験を通し、当該講座で自分で料理することの「楽しさ」を学ぶことができた。 ●課題 来年度、参加者から寄せられた意見・要望を参考にしながら、参加者から喜ばれる楽しい講座内容にして、参加者の増を図る必要がある。	A	継続	
		冬休みプチシェフみなみ	南公民館	健全な食生活の実現を目指す食育の普及啓発事業の一環として、子どもたちが食事について学んだことや調理体験で得た楽しみや喜びを実生活にいかし、食事や健康に気遣う心を培う。	12月25日(月) 「かぼちゃを使ったスイーツ作り」 12月26日(火) 「パンでかたち作りに挑戦しよう」	20,000	○成果 参加者はお菓子作りを通して食材の調理方法を学び、少し大変だったけど料理の楽しさを実感したようだ。今度は家でもチャレンジして欲しい。 当該講座について、参加者より、アンケート調査で高い評価をいただきと共に、多くの貴重な意見・要望が寄せられた。 当日不幸事があり欠席した子がいたが、同じ班の子がその子の分も作って届ける事ができた。 ●課題 参加者から寄せられた意見・要望を参考にしながら、参加者から喜ばれる講座内容にする必要がある。	A	継続	

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時期に応じた学習機会の充実 夏休み子ども学び塾「ゆめ寺子屋」	南公民館	「UVレジンで作ろう」、「囲碁教室」、「習字教室」及び「収穫＆料理体験」など様々な体験学習を通して、「学習の関心、意欲、態度」を育てる。	7月25日(火) 「UVレジンで作ろう」 7月26日(水) 「囲碁教室」 7月27日(木) 「習字教室」 7月28日(金) 「収穫＆料理体験」	16,000	○成果 参加者は、各講座に一生懸命取り組み、体験学習の楽しさを学ぶことができたアンケート大変好評だった。 ●課題 参加者から喜ばれるような体験を主とした講座内容にすると共に、アンケートで参加者の意見・要望を把握する必要がある。	A	継続
		冬休み子ども学び塾「ゆめ寺子屋」	南公民館	「エコクラフトでかごを作ろう」及び「UVレジンでチャームを作ろう」、「習字」、「算数のいずみ」など様々な体験学習を通して、「学習の関心、意欲、態度」を育てる。	12月25日(月) 「エコクラフトでかごを作ろう」 12月26日(火) 「UVレジンでチャームを作ろう」 1月11日(木) 「習字教室」 1月20日(土) 「算数のいずみ教室」	20,000	○成果 参加者は、各講座に一生懸命取り組み、楽しんで学んでいた。「算数のいずみ」以外は、参加者が少なく、冬休みの行事等で参加できなくなったりしたが、講師に時間をかけて教えてもらうことができ、満足していたようである。 ●課題 開設時期について検討し、参加者が興味や関心をもてる講座内容にする必要がある。	A	継続
		ファミリー電波教室	南公民館	身の回りで利用されている電波について、その性質などを映像・実験を通して学ぶ。	・電波教育用DVDの再生 ・オシロスコープ等実験機材を使用した電波の特性等説明 ・FMラジオキットの製作	0	○成果 講師以外に補助者がいるので、受講者への指導が行き届いて好評であった。 総務省関連のボランティアによる講師及び資料提供により、当館の予算持ち出しはゼロであった。 ●課題 定員20組に対し7組の応募しかなかった。昨年の反省から各学校への募集のチラシを配布する、ポスターを掲示する等の周知を早め、応募期間を長めに取ったにもかかわらずの数字であり、もっと別の対応が必要である。少年少女発明クラブにも周知していただくようお願いしたが、日曜日の午後はちょうどチャレンジコンテストのための活動日であったため、発明クラブを通しての参加者は1名もなかった。日程の事前調整が必要と思われる。	A	継続
		親子ワクワク教室	十和田湖公民館	法興小学校及び沢田小学校の児童と保護者を対象に、親子交流の場を創出し、その体験をとおして、親子のふれあいを深め、心豊かな子どもを育てる。	親子の交流を以下の内容で実施した。 講師:本間まゆみ氏 (1) 法興小学校 7月30日「米粉を使ったピザ作り教室」(法興小学校1年・PTA研修委員会) (2) 沢田小学校 8月26日「米粉を使ったピザ作り教室」(沢田小学校1・2年生)	18,000	○成果 参加者は講師の指導のもと、米粉を使った「ピザ作り教室」を親子で楽しんでいた。 すべての参加者から大変満足したとの感想があり、親子交流の貴重なレクリエーションの機会として、継続して実施したい。 ●課題 料理教室は好評であるが、設備の都合上、場所が沢田悠学館に限定される。 料理教室を実施する場合、調理器具に限りがあり、参加人数が限定される。	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																																
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時期に応じた学習機会の充実	十和田市市民大学講座	スポーツ・生涯学習課	時代の要請に即した現代的課題や学習成果を活かした社会参加をとおして、心豊かで潤いのある生活とまちづくりをより一層推進していく生涯学習の機会として開催する。	<p>平成29年度 十和田市市民大学講座の実績について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座NO.</th> <th>開催日時・会場</th> <th>講師・講題</th> <th>参加人数</th> <th>謝礼金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開講式</td> <td>7月11日(木) 13:30~15:00</td> <td>講師:佐々木 良良 (ささき りょうりょう) 演題: 今日までの自分を超えて明日を生きる</td> <td>105人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>第1講座</td> <td>7月20日(木) 18:30~20:10</td> <td>講師:井上 浩典 (いの上 ひろのり) 演題: 長と健康</td> <td>90人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>第2講座</td> <td>7月27日(木) 18:30~20:00</td> <td>講師: 栗田 幸博 (栗田 ゆきひろ) 演題: 長・健康・老化と看護学との関連と市の対策について</td> <td>74人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>第3講座</td> <td>8月30日(水) 18:30~20:30</td> <td>講師: 栗川 宗 (栗川 せむね) 演題: 節活動(男子朝活)を基軸とした地方創生</td> <td>85人</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>第4講座</td> <td>9月22日(金) 18:30~20:30</td> <td>講師: 入交 真巳 (いりまき まこと) 演題: 穴倉の行動をビデオで見る</td> <td>65人</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>第5講座</td> <td>10月27日(金) 18:30~20:00</td> <td>講師: 小堀 一子 (こぼり かずこ) 演題: アートと人生</td> <td>47人</td> <td>80,000円</td> </tr> <tr> <td>第6講座</td> <td>11月16日(木) 18:30~20:30</td> <td>講師: テュウ・グレイス 演題: 入賞者が語る、ショパン国際ピアノコンクール</td> <td>162人</td> <td>350,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>628人</td> <td>550,000円</td> </tr> </tbody> </table>	講座NO.	開催日時・会場	講師・講題	参加人数	謝礼金額	開講式	7月11日(木) 13:30~15:00	講師:佐々木 良良 (ささき りょうりょう) 演題: 今日までの自分を超えて明日を生きる	105人	0円	第1講座	7月20日(木) 18:30~20:10	講師:井上 浩典 (いの上 ひろのり) 演題: 長と健康	90人	0円	第2講座	7月27日(木) 18:30~20:00	講師: 栗田 幸博 (栗田 ゆきひろ) 演題: 長・健康・老化と看護学との関連と市の対策について	74人	0円	第3講座	8月30日(水) 18:30~20:30	講師: 栗川 宗 (栗川 せむね) 演題: 節活動(男子朝活)を基軸とした地方創生	85人	120,000円	第4講座	9月22日(金) 18:30~20:30	講師: 入交 真巳 (いりまき まこと) 演題: 穴倉の行動をビデオで見る	65人	0円	第5講座	10月27日(金) 18:30~20:00	講師: 小堀 一子 (こぼり かずこ) 演題: アートと人生	47人	80,000円	第6講座	11月16日(木) 18:30~20:30	講師: テュウ・グレイス 演題: 入賞者が語る、ショパン国際ピアノコンクール	162人	350,000円						628人	550,000円	762,060	<p>○成果 文学、食、健康、動物、アート、音楽などの、第一線で活躍している講師の招聘により受講者から好評であった。</p> <p>●課題 受講者の約5割が60歳以上であること、約6割が「開催時間90分」を希望していることが分かった。要望に対応できる部分是对応し、次年度は星の講座の開催を企画し、参加しやすい時間帯を探ってみる。 来年度から「とわだ市民カレッジ」として実施する。</p>	B	廃止
		講座NO.	開催日時・会場	講師・講題	参加人数	謝礼金額																																																			
		開講式	7月11日(木) 13:30~15:00	講師:佐々木 良良 (ささき りょうりょう) 演題: 今日までの自分を超えて明日を生きる	105人	0円																																																			
		第1講座	7月20日(木) 18:30~20:10	講師:井上 浩典 (いの上 ひろのり) 演題: 長と健康	90人	0円																																																			
第2講座	7月27日(木) 18:30~20:00	講師: 栗田 幸博 (栗田 ゆきひろ) 演題: 長・健康・老化と看護学との関連と市の対策について	74人	0円																																																					
第3講座	8月30日(水) 18:30~20:30	講師: 栗川 宗 (栗川 せむね) 演題: 節活動(男子朝活)を基軸とした地方創生	85人	120,000円																																																					
第4講座	9月22日(金) 18:30~20:30	講師: 入交 真巳 (いりまき まこと) 演題: 穴倉の行動をビデオで見る	65人	0円																																																					
第5講座	10月27日(金) 18:30~20:00	講師: 小堀 一子 (こぼり かずこ) 演題: アートと人生	47人	80,000円																																																					
第6講座	11月16日(木) 18:30~20:30	講師: テュウ・グレイス 演題: 入賞者が語る、ショパン国際ピアノコンクール	162人	350,000円																																																					
					628人	550,000円																																																			
		女性のための教養教室	南公民館	十和田市の女性を対象に、十和田市の歴史や風土・文化にふれながら、十和田市への理解と親しみを深めるとともに受講者の相互の交流を深めることを目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・4月17日(月) 開講式・いけはな体験 ・5月10日(水) 図書館見学・現代美術館鑑賞 ・6月21日(水) 陶芸教室 ・7月5日(水) 市内の施設見学 ・9月27日(水) 施設見学 ・11月14日(火) リフレッシュヨガ ・12月12日(火) 開講式・パンでXmasリース作り 	18,000	<p>○成果 物づくり、いけはな、施設見学、ヨガ体操等、講座内容が多岐に渡り、参加者に多くの「学習の場」を提供することができ喜んでもらう事ができた。当該講座について、参加者よりアンケート調査で高い評価をいただいた。</p> <p>●課題 「女性のための教養教室」として開設し4年目。さらに多くの受講者に学習してもらうために、講座内容を充実させたい。</p>	A	継続																																																
		干支の和紙工芸教室	南公民館	地域の伝統や文化等に関わる技術者や指導者を地域から発掘し、市民に学習機会を提供し、今後の生涯学習を豊かなものにしてもらうため。	・新年の干支である「戌」の和紙工芸の製作	9,000	<p>○成果 今年は同じ絵柄で初心者ができる内容の作品を製作したため、受講者への指導が行き届き時間内に終了することができ、大変好評であった。 申込9名の内2名は都合のため当日参加できず、材料のキットを渡して製作してもらうことにした。</p> <p>●課題 地域人材活用講座として長年干支の和紙工芸教室を開催してきたが、今後は和紙工芸も含めて地域の人材を活用するために色々な分野の教室を開催していく必要がある。そのために講師の確保が必要である。</p>	A	継続																																																
		男性の料理教室(1)「そばうち」	南公民館	健全な食生活の実現を目指す食育の普及啓発事業の一環として、普段料理をしない男性に「そばうち」を学んで貰い、実生活に生かし、自分だけでなく家族の食事や健康に気遣う心を培う。	<ul style="list-style-type: none"> ・講師による「そばうち」の実演 ・グループに分かれての「そばうち」の体験 ・「そば」の試食 	10,000	<p>○成果 当該講座は参加者より、非常に充実して楽しいと高い評価をいただいた。そばうち以外の料理の希望はアンケートで多種にわたった。また、もっと回数を多くしてもよいのではないかと口頭での希望もあった。</p> <p>●課題 16年間継続して人気のある講座であるが、内容的に変更させる要素が少ないため、講師と相談の上、講座内容を検討する必要がある。</p>	A	継続																																																

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
II 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主眼的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時代に 応じた学習 機会会の 充実	男性の料理 教室(2) 「ハンバー グ」	南公民館	健全な食生活の実現を目指す食育の普及啓発事業の一環として、普段料理をしない男性に「料理」を学んで貰い、実生活にいかし、自分だけでなく家族の食事や健康意識を培う。	・講師による「ハンバーグ」のレシピに関する説明 ・グループに分かれて調理の体験 ・試食 【献立】 ① ハンバーグ	6,000	○成果 アンケートを見ると、献立は比較的作業が簡単な「ハンバーグ」だったが、簡単だと回答しただけのは1名のみで、意外に簡単ではないという意見が多数を占めたが、自分でつくった割においしくできたと好評であった。 ●課題 アンケートの意見・要望に基づいて献立を検討しているが、当館の施設では実現不可能なものもあるため、なかなか希望に沿えない状況にある。	A	継続
		食を楽しむ 教室(パンつ くり)	南公民館	食育の普及啓発事業の一環として、家庭における食育の推進のため、季節のパンを作ることによって四季それぞれの鮮やかな彩りを感じながら、家族のコミュニケーションを図ること、健全な食生活の実現を目指す。	6月8日(木) 「食を楽しむ教室(パン作り)」 ～オレンジパン作り～	6,000	○成果 定員を超える23人の応募があり、抽選による10名が参加しパン作りに積極的に取り組む姿が見られた。 当該講座について、参加者より、アンケート調査で高い評価をいただいた。 ●課題 好評であることから参加者から寄せられた意見・要望を参考にしながら、参加者に喜ばれる講座内容にして行く必要がある。	A	継続	
		食を楽しむ 教室 (そばうち)	南公民館	食育の普及啓発事業の一環として、家庭における食育の推進のため、「そばうち体験」を通して家族のコミュニケーションを図ること、正しい食習慣を学ぶことにより、健全な食生活の実現を目指す。	1月25日(木) 「女性のためのそばうち体験」	10,000	○成果 例年人気の講座で、今回も多くの申込があり抽選を行ったが、前日までに骨折やインフルエンザで3名が欠席辞退し、選外の方に再度連絡・調整したため定員通り開催することができた。参加者より、そばの効用で栄養素の中に体に良いルチンが多いと好評で、自分でそばを打ってみたいと言う参加者が多く見られた。 当該講座について、参加者より、アンケート調査で高い評価をいただいた。 ●課題 女性のためのそばうち体験講座であったが、大変好評であることから参加者から寄せられた意見・要望を参考にしながら、参加者に喜ばれる講座	A	継続	
		食を楽しむ 教室 (洋菓子つ くり)	南公民館	食育の普及啓発事業の一環として、家庭における食育の推進のために、洋菓子をつくることによって家族のコミュニケーションを図ること、健全な食生活の実現を目指す。	2月14日(水) 「米粉クレープとコーヒーでくつろぎカフェタイム」	15,000	○成果 米粉を使ったクレープ作りを通して、米粉の良さや扱い方など調理実践を通して、洋菓子作りに大きな興味を持っていただき、自分たちでも作れる事、それにあたりちよとしたコツがあることを学んだ。 当該講座へのアンケート調査では、お菓子作りの他、料理への興味・関心が高い事が分かり、意欲的に今後も参加したいとの評価を頂くことができた。 ●課題 アンケート調査で寄せられた意見・要望等を参考に「こういう事を知りたかった」という内容を、講座へ取り入れながら発信していきたい。	A	継続	
		地域資源活 用講座(ふる さと再発 見)	東公民館	十和田市の歴史、文化、自然、人物などの中から、ふるさと再発見という視点で社会教育資源の掘り起こしを図る。	○第1回「あおもりの不思議な世界」 8月4日(金) 参加者41名 講師: 山本 光一(しるばにあつる編集長)) ○第2回「南八甲田幻の県道」～82年後の今を語る 11月17日(金) 参加者 72名 講師: 横浜慎一(十和田山岳振興協議会) ○第3回「遺骨をふるさとへ」～激戦地パラオから 12月22日(金) 参加者 48名 講師: 横浜慎一(元第14師団ベリリユール島戦車隊の会青森分会)	0	○成果 3回のうち2回を県選挙管理委員会の「明るい選挙出前講座」を活用し、一般会計の予算を支出することなく事業を実施することができた。 ●課題 実施目的に沿った各資源の掘り起こしと講師の招聘に最も苦慮している。	A	継続	

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主體的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時期に応じた学習機会の充実	伝承工芸講座「裂織教室」	十和田湖公民館	当地区が南部裂織発祥の地であることから、裂織の体験学習を通して郷土の生活文化を学んでもらう。	<p>■前期コース 6月2日・6日・9日・13日・14日・16日・20日・23日 (全8回) 10人</p> <p>■後期コース 10月24日・25日・27日・31日、11月1日・7日・8日・10日 (全8回) 6人</p> <p>講師 十和田湖さき織研究会(会長 明戸 スミ子氏)</p>	240,000	<p>○成果</p> <p>糸まきから作品完成までを一貫して学ぶことができ、講師の丁寧な指導に感心したとの感想が多く寄せられた。</p> <p>公民館まつりでは、鮮やかな作品を展示して、来館者を魅了した。昨年度と同じ参加者が多くみられるが、継続して開催することで、裂織の技の伝承に貢献できた。</p> <p>●課題</p> <p>さき織研究会の後継者育成について検討する必要がある。</p>	A	継続
		歴史ろまん探訪教室	十和田湖公民館	青森県の歴史や文化を学習することにより、教養や知識を高めてもらい、参加者の学習意識向上を図る。	<p>6月7日 十和田市(市内・旧三本木町) 講師 中野渡 武信 氏 渡船場、一里塚、大清水沼、稲荷神社、元町神明宮、新山神社</p> <p>9月6日 十和田市(湖畔地区) 講師 山本 光一 氏 禊ぎの里、森の神、銚子大滝祠と選擇所、十和田神社</p> <p>9月20日 八戸市、五戸町、南部町、田子町 講師 山本 光一 氏 傘イチイ、七崎神社、斗賀神社、蛇王神社</p>	52,000	<p>○成果</p> <p>今年度は、市内旧三本木町の名所旧跡と南祖ノ坊の史跡を巡り地元の歴史を再発見できた。</p> <p>講師から、各地域の歴史をこと細やかに解説していただき、受講生から好評を得た。</p> <p>●課題</p> <p>今後は、テーマを早期に決めるなど内容の充実を図る工夫が必要である。</p>	A	継続	
		地域人材活用講座「食を楽しむ」	十和田湖公民館	地域の食文化等に関わる技術者や指導者を地域から発掘し、市民の学習機会に活用するとともに、それらの学習成果を今後の生涯学習に活かして貰う。	<p>7月13日 「ハレの日の赤飯教室」 講師 野崎 さち子氏(材料費600円)</p> <p>9月1日 「つき返しだんご作り教室」 講師 工藤 きよゑ氏(材料費600円)</p> <p>10月5日 「郷土料理・けいらん作り教室」 講師 豊川 彰子氏(材料費600円)</p> <p>12月1日 「長いもすいとん作り教室」 講師 中屋敷 ひとみ氏(材料費600円)</p> <p>12月20日 「豆しとぎ作り教室」 講師 野崎 さち子氏(材料費600円)</p>	45,000	<p>○成果</p> <p>どの講座も、定員を上回る人気の講座となった。</p> <p>レシピと実演によって、参加者からは多くの質問等があり、なごやかな雰囲気の中、終始真剣に取り組む姿が見られた。</p> <p>●課題</p> <p>アンケート結果に基づき、魅力ある講座を開催できるように取り組んでいきたい。</p>	A	継続	
		地域人材活用講座「アートを楽しむ」	十和田湖公民館	地域の伝統や文化等に関わる技術者や指導者を地域から発掘し、市民に学習機会を提供し、今後の生涯学習を豊かなものにしてもらうため。	<p>8月29日・30日 「布ぞうり作り教室」 講師 十和田湖さき織研究会(会長 明戸スミ子氏)(材料費 1,000円)</p> <p>9月30日 「UVレジンアクセサリー作り教室」 講師 相馬 美佳氏(材料費 1,000円)</p> <p>11月6日 「ソーブカービング教室」 講師 佐伯 知美氏(材料費 600円)</p>	47,000	<p>○成果</p> <p>「UVレジンアクセサリー作り教室」と「ソーブカービング教室」では、素敵な作品の出来上がり大変満足したとの感想が寄せられた。</p> <p>布ぞうりは、足によくフィットし実用性が高いと大変好評である。</p> <p>●課題</p> <p>募集の際はわかりやすい説明文を記載するなどの工夫が必要である。手芸の講座は細かい作業があり、指導できる人数に限られる。</p>	A	継続	
		十和田湖畔休屋地区出前教室	十和田湖公民館	十和田湖畔地区の生涯学習の推進と活性化のため、休屋地区住民を対象に学習機会を提供し、学習活動へ参加する楽しみや健康で心豊かな日常生活を日常生活を送って貰う。	<p>8月30日 「エコせっけん作り」 講師 NPO法人青森県環境パートナーシップセンター</p> <p>11月30日 「紙袋にリボンなどの装飾をするラッピング技術」</p> <p>12月6日 「一升瓶をふるしきで包む技術」</p> <p>12月7日 「四角い箱や丸い箱を包装紙で包む技術」 講師 佐伯 知美氏</p>	27,000	<p>○成果</p> <p>休屋地区は観光地であることから、当該教室をシーズンオフの時期に開催することにより、一定の参加者を確保することができた。</p> <p>食用廃油からのエコせっけん作りや多くのラッピングの仕方を学習し、これからの仕事に役立つとして、講師に積極的に質問するなど好評であった。</p> <p>●課題</p> <p>地域の要望が多様化してきており、講師の確保が難しいことがある。</p>	A	継続	

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																																				
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時期に応じた学習機会の充実	十和田湖畔宇樽部地区出前教室	十和田湖公民館	十和田湖畔地区の生涯学習の推進と活性化のため、宇樽部地区住民を対象に学習機会を提供し、学習活動へ参加する楽しみや健康で心豊かな日常生活を送ってもらうため。	11月29日 ふるさと出前きらめき講座 「働き盛り世代のための健康づくり」 市健康増進課職員 12月1日 「3B体操教室」 佐藤 佐智子氏	9,000	○成果 宇樽部地区住民及び十和田湖中学校の生徒及び先生と一緒にいった。日頃の運動不足解消と、生徒たちとの交流ができて大変良かったとの感想が多く寄せられた。 宇樽部地区の世代間交流の貴重な機会として、これからも継続していきたい。	A	継続																																																			
		健康体リフレッシュ教室	十和田湖公民館	市民に運動習慣の重要性について意識を高めてもらい、実践していくための学習機会を提供し健康的な生活を維持してもらうため。	10月25日 ・身近なものを使ったストレッチ ・筋力アップのトレーニング ・日常生活での注意事項 講師 加藤 智子氏	7,000	○成果 参加者の年齢層に合わせて、運動プログラムを作るため、笑顔が絶えない講座となった。 その運動プログラムは自宅でも気軽に出来る内容となっていたので、本人の心がけ次第で運動不足の解消が望める。 ●課題 健康維持のため食生活や運動習慣について、一体的な取り組みなど検討し改善していく必要がある。	B	改善																																																				
		湖畔地区外国語会話教室	十和田湖公民館	近年、外国人の観光客が増加していることから、湖畔地区を対象に外国語教室を開設し、おもてなしとして簡単な会話が出来るようにするため。	湖畔地区の代表者と協議し、観光オフシーズンに以下のとおり実施した。 平成29年11月21日、22日、24日「英語会話教室」 講師 ALT(ホーン・アンジー氏、フィリップス・ケイトリー氏、デービス・サイモン氏、サーミント・マイケル氏) 平成29年12月4日、5日「中国語会話教室」 講師 林 雁青氏	14,000	○成果 観光地である湖畔地区を対象に、外国語を実施することで、観光案内に役立つ英語を学ぶことができた満足度が高かった。 ●課題 初歩的な外国語会話教室として3年間継続してきたが、参加者が固定化し、減少してきているので、見直すなど検討する必要がある。	B	廃止																																																				
		本のリサイクルフェア	市民図書館	家庭で読み終わって不要になった本を収集し、市民や近隣市町村住民に再利用してもらい、読書活動推進に役立てってもらうため実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">収集冊数</th> <th rowspan="2">持ち帰り冊数</th> <th colspan="3">来場者数</th> </tr> <tr> <th>一般(単行・文庫)</th> <th>児童</th> <th>雑誌</th> <th>合計</th> <th>市内</th> <th>市外</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度</td> <td>976</td> <td>810</td> <td>1,079</td> <td>2,865</td> <td>2,418</td> <td>310</td> <td>26</td> <td>336</td> </tr> <tr> <td>H28年度</td> <td>1,779</td> <td>853</td> <td>250</td> <td>2,882</td> <td>2,342</td> <td>378</td> <td>29</td> <td>407</td> </tr> <tr> <td>前年度比増減</td> <td>▲803</td> <td>▲43</td> <td>829</td> <td>▲17</td> <td>76</td> <td>▲68</td> <td>▲3</td> <td>▲71</td> </tr> <tr> <td>前年度比増減率</td> <td>▲45.1%</td> <td>▲5.0%</td> <td>331.6%</td> <td>▲0.6%</td> <td>3.2%</td> <td>▲18.0%</td> <td>▲10.3%</td> <td>▲17.4%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	収集冊数				持ち帰り冊数	来場者数			一般(単行・文庫)	児童	雑誌	合計	市内	市外	合計	H29年度	976	810	1,079	2,865	2,418	310	26	336	H28年度	1,779	853	250	2,882	2,342	378	29	407	前年度比増減	▲803	▲43	829	▲17	76	▲68	▲3	▲71	前年度比増減率	▲45.1%	▲5.0%	331.6%	▲0.6%	3.2%	▲18.0%	▲10.3%	▲17.4%	0	○成果 市民及び近隣市町村住民により収集した不要図書を再利用することにより、図書資源の利活用の向上に繋がっている。 ●課題 1人で何度も訪れ何十冊と持ち帰る方もあり、持ち帰り冊数等の基準を見直す必要がある。 ボランティアの協力による部分が大きく、職員が行う業務比率を検討する必要がある。	A	継続
		区分	収集冊数				持ち帰り冊数	来場者数																																																					
一般(単行・文庫)	児童		雑誌	合計	市内	市外		合計																																																					
H29年度	976	810	1,079	2,865	2,418	310	26	336																																																					
H28年度	1,779	853	250	2,882	2,342	378	29	407																																																					
前年度比増減	▲803	▲43	829	▲17	76	▲68	▲3	▲71																																																					
前年度比増減率	▲45.1%	▲5.0%	331.6%	▲0.6%	3.2%	▲18.0%	▲10.3%	▲17.4%																																																					
寿大学	スポーツ・生涯学習課	高齢社会に対応し、高齢者が学習活動を通じて社会的能力を高め心豊かな生きがいのある人生の創造を目指すとともに、その学習の成果を社会参加活動につながるよう支援する。	* 午前中は全体で講話・スポーツ等の学習を実施し、午後は郷土・焼物・生花・詩吟・社交ダンスの各5クラブに分かれて自主クラブ活動をしている。 ① 4/18 開講式、クラブ編成、運営委員会 ② 5/2～2/6 講話、スポーツ、歌唱指導、野外学習等15回の講座を実施 ③ 2/20 開講式、開講パーティー	211,932	○成果 苔玉づくり等体験型の講座や民間企業からの講師による講座が好評であり、登録者数及び延べ参加者数ともに増加している。 ●課題 実施回数や講座内容に関する要望が多くあるため、意見をより反映させたプログラムを作成していく必要がある。	A	継続																																																						

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性		
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時期に応じた学習機会の充実	十和田市みなみ大学	南公民館	高齢化社会に対応し、高齢者が学習活動を通じて社会的能力を高め、心豊かな生きがいのある人生の創造を目指すと共に、その学習の成果を社会参加活動に生かす。	4/14 開講式・事業説明等 4/28 環境奉仕活動 5/12 第9回グラウンドゴルフ大会 5/26 八甲田山雪中行軍を語る 6/9 食と運動を中心に長寿を考える 6/23 認知症を正しく知ろう 7/7 室内ベタンクをやってみよう 7/21 100点満点の笑顔とおもてなし 7/26 野外研修(八戸方面) 8/4 動いて笑って健康アップ 8/18 寄席 9/15 あなたの資産があぶない	10/6 防災訓練 10/13 第10回グラウンドゴルフ大会 11/10 環境奉仕活動 11/24 市民合唱祭りハーサル 12/8 和紙ちぎり絵体験 12/22 火災予防について 1/19 脳のトレーニング 2/2 米粉を使ったスイーツ作り 2/23 冬の軽スポーツ 3/3 閉講式	116,000	○成果 本年度は、受講生からの意見も取り入れプログラムを組みました。体を動かす学習や初めて体験した教養講座については、受講生の評価が良かった。 ●課題 当該講座への参加者が高齢化しており、参加者が減少傾向にあることから、来年度は魅力ある講座内容にして、参加者が多く受講するよう努力したい。	A	継続
		高齢者講座「遊友ひがし」	東公民館	高齢者が健康で充実した心豊かな人生を送るための学習と交流の場になることを目的とする。	・4月14日 開講式 ・午前中はハイキング、社交ダンス、グラウンド・ゴルフとクラブごとに分かれて活動を行い、午後は講師を招いて講話や軽スポーツを行った。 ・公民館まつりには、フリーマーケットと食堂部門で参加。 ・会員に人気の野外学習は、個々の知識と見聞を広めることを目的に、「久慈琥珀～太古のロマンを感じとろう」、「滝の流れる地「滝沢と中渡を訪ねて」」、「青森の不思議な世界」の3回実施した。 ・3月2日 閉講式	20,317	○成果 平均年齢75歳という後期高齢者が多い会員の集まりであるが、「遊友ひがし」という生涯学習の場を通じ、社交ダンスなどのクラブ活動で、活発に生き生きと充実した学習活動を行っている。 一人で出かける機会の少ない高齢者にとって、野外学習は楽しみなプログラムであり、また、見聞を広めるための魅力的な学習機会となっている。	A	継続		
		高齢者事業「ろまん大学」	十和田湖公民館	長寿をすべての市民が喜びの中で迎え、高齢者が安心して暮らせる地域社会の形成を図るため、夢のある多様な学習機会の提供を通じて、社会を構成する重要な一員として、相互の連携を一層深めると共に、健やかに充実した生活を営むことを目的とする。	(1) 4月20日 開講式、クラブ編成、運営委員会組織会、講演 小沢純二氏 (2) 5月18日 [実技]「ストレッチ体操」講師 県立中央病院 西村司氏 (3) 6月1日 [実技]「グラウンドゴルフ大会」 (4) 6月14日 [野外学習]社会見学①「盛岡園など」 (5) 7月6日 [講話]「あなたの財産が危ない！ 消費生活センターからのお知らせ」 講師 まちづくり支援課 消費生活センター相談員 (6) 7月20日 [語り講話]「語り部・南部昔話」講師 語り部「わの会」 (7) 8月17日 [歴史講話]「お芝居観劇」秋田県小坂町 康楽館・鉱山事務所 (8) 9月7日 [語り講話]「南部昔話」講師 語り部「わの会」 (9) 9月21日 [実技]「グラウンドゴルフ大会」 (10) 10月4日 [野外学習]社会見学②「康楽館など」 (11) 10月19日 [実技]「3日体操で楽しく健康づくり」講師 佐藤 佐智子氏 (12) 11月19日 [発表・観覧]十和田湖公民館まつり (13) 12月21日 [公演]「民謡を楽しむ会」公演 角田 弘信社中 (14) 1月18日 [公演]「歌を楽しむ会」公演 北野 好美氏 (15) 2月15日 閉講式「卒業お祝い会」皆勤賞表彰、学習の報告、会食等	53,400	○成果 高齢者の学習活動の場として定着しており、受講生同士の交流等生きがいづくりのひとつとなっている。運営委員会を組織し、協議をしながら講座を開催した。クラブ活動では、公民館まつりの舞台部門や展示部門に参加した。次年度も運営委員会とともに魅力ある学習内容を企画しながら、年15回の開催予定で高齢者の生きがいづくりに努めたい。 ●課題 参加者が減少傾向にあるので、地区老人クラブ等に情報提供するなど募集について工夫が必要である。	A	継続		

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																							
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	6. 生涯学習時期に応じた学習機会の充実	民間教育事業者講座	南公民館	<p>教養をより広く、より深めようとする市民の学習要求に対応するため、民間教育事業者と連携し、社会教育に関する事業を促進する。</p>	<p>【開設講座】</p> <p>① 親子ヨガ(乳児、小、中各クラス)(土曜午前)</p> <p>② らくらく着方クラブ(水曜午前)</p> <p>③ 青山御流いけ花教室(水曜午前)</p> <p>④ 極真会十和田道場(水・土曜夜間)</p> <p>⑤ 生田流お箏教室(水曜午後)</p> <p>⑥ 南七宝クラブ(水曜午後)</p> <p>⑦ 初心者のためのピアノ(木曜午前)</p> <p>⑧ 手づくりパン教室(木曜午後)</p> <p>⑨ 池坊いけばな南教室(金曜夜間)</p> <p>⑩ おいしいコーヒーの淹れ方教室(木曜午前)</p> <p>⑪ アロマクラフト手作り教室(不定期)</p> <p>⑫ かな書道教室(月曜日午後)</p> <p>⑬ MAHANA YOGA(木・土曜午前)(旧リフレッシュヨガ)</p> <p>⑭ 手づくりシンプルコスメノワークショップ(木曜日午前)</p> <p>⑮ とわだナニヤドヤラ保存会(水曜午後)</p>	0	<p>○成果</p> <p>本年度は、昨年より1団体減り、2団体新規で増え15講座の開設となった。民間事業者と連携して、社会教育事業を推進できた。</p> <p>●課題</p> <p>継続している講座は、少人数での講座が多くなっている。民間教育事業者の増に努め、多様な市民のニーズに応える必要がある。</p>	A	継続																																						
		民間事業者との連携	東公民館	<p>市民の学習要求に応え、専門的講座を展開するために導入した民間教育事業者による講座開設という先進的な公民館運営を推進するため、東公民館で講座を開設している民間教育事業者との連携を進め、講師相互の交流を図る。</p>	<p>民間教育事業者による各講座の講師と連携した事業の推進を図るため、「講師の会」の活動を支援した。</p> <p>◆民間教育事業者「講師の会」の活動内容</p> <p>① 役員会 4月28日(金)10:00 案件:総会の日程等について</p> <p>② 総会 5月20日(土)18:00</p> <p>案件:平成28年度決算及び事業報告、平成29年度予算及び事業計画など※事業計画の中で公民館まつりへの協力、体験&見学デーの実施を決めた。</p> <p>③ 東地区公民館まつりへの参加 10月7(土)・8日(日) 11講座参加</p> <p>④ 講座の「無料体験&見学デー」の開催(教育委員会と共催) 11月12日(日)10:00~16:00 7講座</p>	0	<p>○成果</p> <p>公民館との連携が顕著に出ているのは、「東地区公民館まつり」へ11講座が参加し、ステージ部門や展示・体験部門で地域住民と共にまつりを盛り上げていることである。</p> <p>講座の「体験&見学デー」は、「民間教育事業者による講座」の知名度の向上につながっている。</p> <p>●課題</p> <p>講師の高齢化による休講・閉講が続いており、「他の公民館にない講座」の開設を要するところであるが、講師の招聘など困難な状況である。</p>	A	継続																																							
		7. 高等教育機関(団体)との連携	北里大学公開講座	スポーツ・生涯学習課	<p>生涯学習の振興により多様化する学習ニーズに対応するため、大学の専門的分野の教育及び施設を地域社会に開放し、幅広い学習機会を提供する公開講座を開催する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>演題</th> <th>講師</th> <th>会場</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回 食と健康 ～身近な食材から健康を考える～</td> <td>井上 浩哉</td> <td>十和田市民文化センター 大ホール</td> <td>90名</td> </tr> <tr> <td>第2回 美、健康、老化と環境因子との関連 とその対策について</td> <td>矢田 幸博</td> <td>獣医学部 111教室</td> <td>74名</td> </tr> <tr> <td>第3回 青森の山をシカが変える</td> <td>岡田 あゆみ</td> <td>獣医学部 112教室</td> <td>57名</td> </tr> <tr> <td>第4回 進化を続ける家畜管理技術 ～ウェアラブルから人工知能まで～</td> <td>鍋西 久</td> <td>獣医学部 112教室</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>第5回 生命を脅かす細菌感染症</td> <td>粕本 孝茂</td> <td>獣医学部 112教室</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>第6回 骨格筋の魅力 ～ロコモティブシンドロームってなに?～</td> <td>小宮 佑介</td> <td>獣医学部 112教室</td> <td>40名</td> </tr> <tr> <td>第7回 土壌汚染のいま</td> <td>高松 利恵子</td> <td>獣医学部 112教室</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>第8回 犬の目からみえる世界と目の病気 ～人と犬の視覚機能の比較と白内障について～</td> <td>金井 一享</td> <td>獣医学部 112教室</td> <td>56名</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: right;">延べ人数</td> <td>377名</td> </tr> </tbody> </table>	演題	講師	会場	参加者数	第1回 食と健康 ～身近な食材から健康を考える～	井上 浩哉	十和田市民文化センター 大ホール	90名	第2回 美、健康、老化と環境因子との関連 とその対策について	矢田 幸博	獣医学部 111教室	74名	第3回 青森の山をシカが変える	岡田 あゆみ	獣医学部 112教室	57名	第4回 進化を続ける家畜管理技術 ～ウェアラブルから人工知能まで～	鍋西 久	獣医学部 112教室	15名	第5回 生命を脅かす細菌感染症	粕本 孝茂	獣医学部 112教室	23名	第6回 骨格筋の魅力 ～ロコモティブシンドロームってなに?～	小宮 佑介	獣医学部 112教室	40名	第7回 土壌汚染のいま	高松 利恵子	獣医学部 112教室	22名	第8回 犬の目からみえる世界と目の病気 ～人と犬の視覚機能の比較と白内障について～	金井 一享	獣医学部 112教室	56名	延べ人数			377名	650,000	<p>○成果</p> <p>昨年と同様に事前申込不要・受講料無料で実施。アンケート結果を見ると、受講生の層は学生から高齢者まで幅広く、内容・満足度ともに高評価を得ている。</p> <p>●課題</p> <p>テーマにより参加者数にばらつきがあることから、受講者のニーズに合わせたテーマや内容の選択が必要である。</p>
演題	講師	会場	参加者数																																													
第1回 食と健康 ～身近な食材から健康を考える～	井上 浩哉	十和田市民文化センター 大ホール	90名																																													
第2回 美、健康、老化と環境因子との関連 とその対策について	矢田 幸博	獣医学部 111教室	74名																																													
第3回 青森の山をシカが変える	岡田 あゆみ	獣医学部 112教室	57名																																													
第4回 進化を続ける家畜管理技術 ～ウェアラブルから人工知能まで～	鍋西 久	獣医学部 112教室	15名																																													
第5回 生命を脅かす細菌感染症	粕本 孝茂	獣医学部 112教室	23名																																													
第6回 骨格筋の魅力 ～ロコモティブシンドロームってなに?～	小宮 佑介	獣医学部 112教室	40名																																													
第7回 土壌汚染のいま	高松 利恵子	獣医学部 112教室	22名																																													
第8回 犬の目からみえる世界と目の病気 ～人と犬の視覚機能の比較と白内障について～	金井 一享	獣医学部 112教室	56名																																													
延べ人数			377名																																													

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																																																			
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	7. 高等教育機関(団体)との連携	夏休み短期体験学習<動物と自然を科学しよう2017>(北里大学)	東公民館	夏休みを利用して北里大学獣医学部に体験入学し、生物や自然との関わりについて学ぶとともに、環境の大切さについて理解を深める。	(1) 開講式(学部長、教育長あいさつ) (2) 「食品のかたさやわらかさ」 【栄養生理学: 落合 優 講師】 (3) 「毒(どく)って何?」 【毒性学: 鎌田 亮 准教授】 (4) 閉講式(大学生涯学習委員長、館長あいさつ)	30,000	○成果 前年度比で2名の減ではあったが、前々年から行っている広報のほか小・中学校へのポスター、そして、対象学年へチラシを配布したことも功を奏しているため、今後も継続していく。また、親子、兄弟での参加も増えている。 最後のアンケートでは、大学での体験学習は、子どもばかりでなく親たちにとっても「大学」を身近に感じる良い機会となっていること、また、高度な専門機器や器具を使用しての実験や観察を通して、「大学」ならではの内容で貴重な体験となっていることが、顕著にあらわれている。	A	継続																																																																		
		8. 学校、地域、社会教育関係団体、との連携による学習・交流機会の拡充	ふるさと出前きらめき講座	スポーツ・生涯学習課	市民の市政に対する理解を深め意識啓発を図り、市民と行政が協働で生涯学習によるまちづくりを推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>延実施回数</th> <th>延参加者数</th> <th>男</th> <th>女</th> <th>男女別不明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療</td> <td>14</td> <td>375</td> <td>17</td> <td>212</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>介護</td> <td>29</td> <td>888</td> <td>106</td> <td>386</td> <td>396</td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td>5</td> <td>121</td> <td>16</td> <td>105</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>観光</td> <td>8</td> <td>278</td> <td>28</td> <td>55</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>2</td> <td>69</td> <td>9</td> <td>60</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>健康</td> <td>2</td> <td>27</td> <td>18</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>市政</td> <td>8</td> <td>187</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td>施設見学</td> <td>37</td> <td>1,728</td> <td>393</td> <td>371</td> <td>964</td> </tr> <tr> <td>生活その他</td> <td>18</td> <td>297</td> <td>27</td> <td>242</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>123</td> <td>3,970</td> <td>614</td> <td>1,440</td> <td>1,916</td> </tr> </tbody> </table>	分野	延実施回数	延参加者数	男	女	男女別不明	医療	14	375	17	212	146	介護	29	888	106	386	396	環境	5	121	16	105	0	観光	8	278	28	55	195	教育	2	69	9	60	0	健康	2	27	18	9	0	市政	8	187	0	0	187	施設見学	37	1,728	393	371	964	生活その他	18	297	27	242	28	計	123	3,970	614	1,440	1,916	0	○成果 利用件数、利用団体が増加しており、市民・団体等へ浸透してきていると思われる。実施担当課から受講者の反応について86%(123件中106件)が「良い」と回答している。利用の多い講座については担当課が積極的にPRに努めており実施回数も利用者も増加している。 ●課題 より多くの受講者確保のため、市民や時代のニーズに見合った講座内容の充実にも努めてもらうよう庁内各課へ働きかける必要がある。	A	継続
		分野	延実施回数	延参加者数	男	女	男女別不明																																																																					
		医療	14	375	17	212	146																																																																					
介護	29	888	106	386	396																																																																							
環境	5	121	16	105	0																																																																							
観光	8	278	28	55	195																																																																							
教育	2	69	9	60	0																																																																							
健康	2	27	18	9	0																																																																							
市政	8	187	0	0	187																																																																							
施設見学	37	1,728	393	371	964																																																																							
生活その他	18	297	27	242	28																																																																							
計	123	3,970	614	1,440	1,916																																																																							
青少年育成十和田市民大会	スポーツ・生涯学習課	青少年の健全育成に資するため、また、良好な生活や社会環境を整えるとともに、体験活動の機会拡充に努めていくことを目的として開催する。	「心のこもったあいさつができる子どもを育てよう」をスローガンに、青少年健全育成推進事業として開催(市民大学第4講座との共催) ・あいさつ標語コンクール表彰・大会宣言 ・講演 演題「部活動(男子新体操)を基軸とした地方創生」 講師 荒川 栄	55,852	○成果 今年度は、標語コンクールのテーマを「あいさつ」とした。児童・生徒は、あいさつの大切さを見直す契機となり一定の成果をあげている。 ●課題 青少年健全育成はもとより、命を大切にすることを育む運動も展開しているため、講師の選定に当たっては、市民が参加意欲をもてる内容及び周知方法の充実を図りたい。	A	継続																																																																					
成人式	スポーツ・生涯学習課	人生の節目である「成人の日」を迎えるにあたり、個性豊かなたくましい成人となることを期待し、次代を担う十和田市民としての誇りと責任を自覚する契機とする。	・オープニング(三本木小学校音楽部 合唱「たからもの」) ・式典(式辞、祝辞、成人の誓い、市民憲章唱和) ・アトラクション(成人囃子、よさこいソーラン、成人の主張、抽選会) ・協力団体 三本木小学校音楽部、馬花道、着付けサークル四季彩、ガールスカウト日本連盟青森県第10団	295,396	○成果 前年度に引き続き成人式実行委員会を設置することで、新成人が出演するアトラクションを多く実施することができ、会場の一体感が生まれた。 ●課題 記念撮影コーナーの充実等、より新成人の思い出に残る会場づくりが必要である。	A	継続																																																																					

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性																																																																																																													
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	9. 学習成果を生かした社会参加活動の支援	十和田市生涯学習出前講座	スポーツ・生涯学習課	市内で活躍している市民を講師として登録し、かつ、市民等の団体が主催する集会等に向き、市民の一人ひとりの学習意欲を高めるとともに市民同士の交流を図り、生涯学習活動の振興を推進する。	1 市民講師登録内容 ① 登録講師人数 36名 ② 登録講座数 42講座 2 出前講座実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>期日</th> <th>時間</th> <th>講座名</th> <th>講師名</th> <th>団体名</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>平成29年5月9日(火)</td> <td>13:30~15:00</td> <td>体力作り講習会</td> <td>堤 龍雄</td> <td>ローズマリークラブ</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>平成29年7月11日(火)</td> <td>13:30~15:00</td> <td>新日本舞踊講座</td> <td>花柳 書々美座</td> <td>ローズマリークラブ</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>平成29年7月15日(土)</td> <td>10:00~12:00</td> <td>手作りリノ教室</td> <td>原根 トメ</td> <td>法興小学校2学年</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>平成29年9月19日(火)</td> <td>13:00~14:00</td> <td>クラシックギター鑑賞</td> <td>川村 智幸</td> <td>スポーツ・生涯学習課(青大学細土史学研)</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>平成29年12月19日(火)</td> <td>10:30~11:30</td> <td>ねばね先の養生功</td> <td>加賀 敬子</td> <td>スポーツ・生涯学習課(青大学 午前学習)</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>平成29年7月8日(土)</td> <td>10:30~12:00</td> <td>お花でトキメキましよう</td> <td>梶本 ゆみ</td> <td>社会福祉法人 義乃会グループホーム つかもと荘</td> <td>36名</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>平成29年7月18日(日)</td> <td>18:00~17:00</td> <td>バルーンアートワークショップ</td> <td>豊川 和恵</td> <td>一社十和田道徳立公認協会</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>平成29年7月11日(火)</td> <td>11:00~12:00</td> <td>クラシックギター鑑賞</td> <td>川村 智幸</td> <td>特定非営利活動法人 いらせサポートハウスKの家</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>平成29年7月28日(金)</td> <td>10:00~12:00</td> <td>お花でトキメキましよう</td> <td>梶本 ゆみ</td> <td>上北地方小学校教育研究会 後援教諭部会</td> <td>16名</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>平成29年9月18日(月)</td> <td>14:00~14:45</td> <td>クラシックギター鑑賞</td> <td>川村 智幸</td> <td>フクニシセンター生きがし十和田</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>平成29年8月9日(水)</td> <td>18:00~20:00</td> <td>七宝焼・フュージング教室</td> <td>乙供 亮子</td> <td>スポーツ・生涯学習課(十和田市産業教育広場事業)</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>平成29年11月17日(金)</td> <td>10:00~12:00</td> <td>バルーンアートワークショップ</td> <td>豊川 和恵</td> <td>NPO十和田市ステージクリエート</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>平成30年2月15日(木)</td> <td>15:00~16:00</td> <td>コアキッズ体操教室</td> <td>佐々木 佳史</td> <td>スポーツ・生涯学習課(十和田市放課後子ども教室推進事業)</td> <td>21名</td> </tr> <tr> <td colspan="7"></td> <td>合 計</td> <td>269名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No.	期日	時間	講座名	講師名	団体名	参加数	1	平成29年5月9日(火)	13:30~15:00	体力作り講習会	堤 龍雄	ローズマリークラブ	12名	2	平成29年7月11日(火)	13:30~15:00	新日本舞踊講座	花柳 書々美座	ローズマリークラブ	13名	3	平成29年7月15日(土)	10:00~12:00	手作りリノ教室	原根 トメ	法興小学校2学年	24名	4	平成29年9月19日(火)	13:00~14:00	クラシックギター鑑賞	川村 智幸	スポーツ・生涯学習課(青大学細土史学研)	10名	5	平成29年12月19日(火)	10:30~11:30	ねばね先の養生功	加賀 敬子	スポーツ・生涯学習課(青大学 午前学習)	50名	6	平成29年7月8日(土)	10:30~12:00	お花でトキメキましよう	梶本 ゆみ	社会福祉法人 義乃会グループホーム つかもと荘	36名	7	平成29年7月18日(日)	18:00~17:00	バルーンアートワークショップ	豊川 和恵	一社十和田道徳立公認協会	21名	8	平成29年7月11日(火)	11:00~12:00	クラシックギター鑑賞	川村 智幸	特定非営利活動法人 いらせサポートハウスKの家	22名	9	平成29年7月28日(金)	10:00~12:00	お花でトキメキましよう	梶本 ゆみ	上北地方小学校教育研究会 後援教諭部会	16名	10	平成29年9月18日(月)	14:00~14:45	クラシックギター鑑賞	川村 智幸	フクニシセンター生きがし十和田	19名	11	平成29年8月9日(水)	18:00~20:00	七宝焼・フュージング教室	乙供 亮子	スポーツ・生涯学習課(十和田市産業教育広場事業)	14名	12	平成29年11月17日(金)	10:00~12:00	バルーンアートワークショップ	豊川 和恵	NPO十和田市ステージクリエート	11名	13	平成30年2月15日(木)	15:00~16:00	コアキッズ体操教室	佐々木 佳史	スポーツ・生涯学習課(十和田市放課後子ども教室推進事業)	21名								合 計	269名		23,479	○成果 リピーターとなる団体が多く、参加者の満足度も高い。また、PTA関連事業や介護施設での利用もあり、子どもから高齢者まで幅広い年代で活用されている。 ●課題 広報等を利用した事業の周知に努めているが、各講座の詳細を載せたカタログ作成等、魅力あるメニュー内容の周知に力を入れ、申し込みしやすい環境をつくる必要がある。	A	継続
		No.	期日	時間	講座名	講師名	団体名	参加数																																																																																																														
		1	平成29年5月9日(火)	13:30~15:00	体力作り講習会	堤 龍雄	ローズマリークラブ	12名																																																																																																														
		2	平成29年7月11日(火)	13:30~15:00	新日本舞踊講座	花柳 書々美座	ローズマリークラブ	13名																																																																																																														
3	平成29年7月15日(土)	10:00~12:00	手作りリノ教室	原根 トメ	法興小学校2学年	24名																																																																																																																
4	平成29年9月19日(火)	13:00~14:00	クラシックギター鑑賞	川村 智幸	スポーツ・生涯学習課(青大学細土史学研)	10名																																																																																																																
5	平成29年12月19日(火)	10:30~11:30	ねばね先の養生功	加賀 敬子	スポーツ・生涯学習課(青大学 午前学習)	50名																																																																																																																
6	平成29年7月8日(土)	10:30~12:00	お花でトキメキましよう	梶本 ゆみ	社会福祉法人 義乃会グループホーム つかもと荘	36名																																																																																																																
7	平成29年7月18日(日)	18:00~17:00	バルーンアートワークショップ	豊川 和恵	一社十和田道徳立公認協会	21名																																																																																																																
8	平成29年7月11日(火)	11:00~12:00	クラシックギター鑑賞	川村 智幸	特定非営利活動法人 いらせサポートハウスKの家	22名																																																																																																																
9	平成29年7月28日(金)	10:00~12:00	お花でトキメキましよう	梶本 ゆみ	上北地方小学校教育研究会 後援教諭部会	16名																																																																																																																
10	平成29年9月18日(月)	14:00~14:45	クラシックギター鑑賞	川村 智幸	フクニシセンター生きがし十和田	19名																																																																																																																
11	平成29年8月9日(水)	18:00~20:00	七宝焼・フュージング教室	乙供 亮子	スポーツ・生涯学習課(十和田市産業教育広場事業)	14名																																																																																																																
12	平成29年11月17日(金)	10:00~12:00	バルーンアートワークショップ	豊川 和恵	NPO十和田市ステージクリエート	11名																																																																																																																
13	平成30年2月15日(木)	15:00~16:00	コアキッズ体操教室	佐々木 佳史	スポーツ・生涯学習課(十和田市放課後子ども教室推進事業)	21名																																																																																																																
							合 計	269名																																																																																																														
		南公民館まつり	南公民館	公民館利用団体及び講座受講者に学習成果を発表する機会を提供すると共に、地域住民の交流・親睦を図り、住みよい地域社会づくりを推進する。	【ステージ部門： 27団体】 合唱、吹奏楽、ブラスバンド、各種演奏、カラオケ、舞踊、ダンス、演武、体操、着付け、マジック、紙芝居、民話語り 【展示部門： 13団体】 児童作品、手芸、生け花、書道、かな書道、水墨画、俳句、陶芸、切り絵、発明工作、パソコン関連 【催事部門： 10団体 / 13種目】 子育て支援、即売、軽食コーナー、喫茶コーナー、コーヒーデモ、体験お茶会、市施策キャンペーン、民話語り、健康づくりコーナー、かたぬき、創作教室、模擬店、献血	72,714	○成果 祭り期間中は雨が降っていたが、祭りが地域に根付いているせいか来場者数の極端な落ち込みはなかった。「まつり」を通して地域で活動する団体の存在や活動内容を広く市民に知ってもらうことができた。また、地域としての一体感を醸成することができた。 ●課題 今年は若者のステージ出演(太鼓演奏)もあったが、もっと地域にかかわれるようなすキッカケ作りが必要である。	A	継続																																																																																																													
		十和田市児童生徒発明くふう展	南公民館	日常生活をより豊かに快適にするための児童生徒の研究活動や創意工夫、ユニークなアイデアを「発明くふう」、「子どもの科学の夢の絵」という形で広く求め、その作品を一般に公開することで、未来を担う十和田市の児童生徒の創造性発展に寄与する。	○作品募集期間 8月24日(木)~9月1日(金) ○審査会 9月4日(月)13時30分~16時00分 ○出品校及び出品数 【発明くふうの部】出品校 小学校 8校、中学校 1校 出品数 小学校 91点、中学校 1点 【子どもの科学の夢の絵】出品校 小学校 9校、中学校 0校 出品数 小学校169点、中学校 0点	134,612	○成果 「発明工夫」「夢の絵」共に良い作品が多く見られ、県発明くふう展も上位入賞が多かった。 借用施設を昨年度からタワーレに変更したことにより来場者が多くなっている。 ●課題 出品数は「発明工夫」「夢の絵」共に前年度より少し減った。 特に、中学校からの出品がほとんど見られなかった。 「発明工夫」作品の中に工夫が見られない工作的な作品が多い。 各学校への依頼・準備・運営・県への出品・各校への返却等、事務局だけでは苦しい。	A	継続																																																																																																													
		東地区公民館まつり	東公民館	東公民館建設推進協議会、東地区連合町内会、の協力を得て、地域との密接な連携を図り、子どもから高齢者までが楽しく参加できる地域住民手づくりの公民館まつりを実施し、地域住民と公民館との交流を図る。	東地区公民館まつり参加・協力団体 ○展示・体験部門 9団体 ○発表部門(ステージ)15団体 ○屋台等出展 10団体 ○フリーマーケット 35個人	65,805	○成果 運営・実行委員、民間教育事業者及び地域住民の協力を得て、準備から当日の運営・後片付けまでスムーズに運営され、盛況なまつりを開催することができた。 ●課題 来場者数増加に向け、今後も企画内容の充実を図っていきたい。	A	継続																																																																																																													

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育		9. 学習成果を生かした社会参加活動の支援	十和田湖公民館まつり	十和田湖公民館	十和田湖公民館地域の生涯学習を推進するため、十和田湖公民館及び沢田悠学館の利用団体やサークル・町内会及び講座等の受講生が一堂に会し、学習成果の発表や地域住民との交流を図る。	公民館や沢田悠学館の利用団体に組織した実行委員会を主体として、舞台・販売部門は法興小学校体育館、展示・販売部門は公民館の2会場で開催。 舞台部門(15団体) 和太鼓、よさこい、鶏舞、コーラス、フラダンス、レクダンス、舞踊、カラオケ、民謡、絵本読み聞かせ他 展示部門(22団体) 絵画、版画、工作、書道、陶芸、短歌、裂織、布ぞうり、UVレジンアクセサリ他 販売部門(3団体) ドーナツ、コーヒー、クッキー、串もち他	284,162	○成果 会場の準備、後片付け、運営など実行委員会や参加団体が主体となり、盛況に開催することができた。 当日は、雪の降るあいにくの天候となり、来場者数は減となったものの、舞台・作品展示とも内容がとても充実していたという感想が多数寄せられ好評であった。 ●課題 舞台発表と作品展示の2会場の開催を、公民館の大広間を使用し、1会場で開催できないか協議、検討する必要がある。	A	継続
	社会教育のための基盤整備	10. 社会教育推進体制の充実	社会教育委員の会議	スポーツ・生涯学習課	社会教育に関する諸課題の研究調査や生涯学習・社会教育の振興策等についての提言を行うなど、十和田市における社会教育行政の総合的・効果的推進を図ることを目的とする。	①平成29年5月19日 平成29年度上北地方社会教育委員連絡協議会 第1回理事会 ②平成29年5月25日 上北地方社会教育委員連絡協議会 第1回社会教育関係者研修会 ③平成29年6月15日 青森県社会教育委員連絡協議会総会 ④平成29年7月19日 第1回社会教育委員の会議(10名) ・今年度の予定 ・諮問「超高齢社会における生涯学習のあり方」について(協議) ⑤平成29年9月8日 青森県社会教育関係者研修会 ⑥平成29年10月3日 第2回社会教育委員の会議(9名) ・諮問「超高齢社会における生涯学習のあり方」について(協議) ⑦平成29年11月28日 上北地方社会教育委員連絡協議会 第2回社会教育関係者研修会 ⑧平成29年12月21日 第3回社会教育委員の会議(7名) ・諮問「超高齢社会における生涯学習のあり方」について(協議) ⑨平成30年2月28日 第4回社会教育委員の会議(8名) ・諮問「超高齢社会における生涯学習のあり方」について(協議) ・補助金交付団体について	325,021	○成果 諮問「超高齢社会の生涯学習の在り方」についての諮問に対し協議においても、様々な意見が出され、知識を深めることができた。 ●課題 諮問について、意見や提言が深まるよう資料の準備や協議が必要である。	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性	
II 学びの循環のある地域を創る社会教育	社会教育のための基盤整備	10.社会教育推進体制の充実	十和田市教育懇談会	スポーツ・生涯学習課	教育行政関係者と市内小中学校長が一室に会し、本市教育振興の実現に向けて当面する教育上の諸問題について認識や理解を深めると共に、教育行政や学校運営に資するための方策等について意見交換し、今後に反映させる。	第1回企画会議 5月10日(水)10:00~11:30 ・テーマと講師の選定 ・運営方法 第2回企画会議 7月18日(火)10:00~11:30 ・運営方法 ・事例発表内容 十和田市教育懇談会 8月25日(金)13:30~16:30 テーマ「地域における安全・安心」～防犯への取組について～ ・開会行事 ・事例発表 「十和田市の現状と課題、防犯対策について」 青森県十和田警察署 生活安全課長 鎌田 明敏 「学区における安全・安心活動の取組について」 三本木小学校地区安全・安心協働活動協議会 会長 佐藤 やえ ・協議、協議発表 ・質疑応答 ・閉会行事 第3回企画会議 11月20日(月)15:00~16:30 ・今年度の反省 ・次年度のテーマと運営方法	0	○成果 2つの事例発表や中学校区毎の意見交換は、学校・地域・関係機関・行政が相互に連携を深める良い機会となった。 ●課題 学校教育分野、社会教育分野に共通する適時性のあるテーマ設定と開催時期を検討する必要がある。	A	継続
			十和田市民館運営審議会	南公民館	十和田市管内の公民館事業の企画・運営について、調査審議する。	審議会案件 (1) 委員長及び副委員長の互選について (2) 平成29年度異動になった職員の紹介について (3) 平成28年度公民館事業実績報告について (4) 平成29年度公民館運営方針と重点目標及び事業計画について (4) その他 * 平成29年度公民館当初予算について * 第58回青森県公民館研究フォーラム開催について	52,062	○成果 委員からは、予算的に時間的に講座を拡充できる余裕があるのか。(中央公民館がなくなったので)また、湖町の公民館まつりが他の公民館まつりより事業費が多い理由は、といった質問がありました。 講座の拡充については、三館とも人的に難しい。十和田湖公民館まつりの事業費については、公民館の舞台部門を公民館外で行っており、音響施設の委託のため事業費が多いと回答しました。	A	継続
			十和田市民図書館協議会	市民図書館	図書資料の情報拠点としての図書館づくりのため、利用者のニーズを図書館運営に反映させるための意見・要望等を把握する。	○第1回協議会(案件) ① 平成28年度図書館事業実施状況及び ② 平成29年度図書館基本方針及び平成29年度図書館事業計画について ○第2回協議会(案件) ① 平成29年度十和田市民図書館事業の取組状況について ② ブックシャワーの導入について	108,592	○成果 幅広い分野の委員より貴重な意見・要望を聞くことができ、図書館サービスの向上にとっても役立っている。 ●課題 今後も、図書館の抱える課題等について、当該協議会の委員より意見・要望を聞き、それを事業運営に反映させ、利用者から一層喜ばれる図書館にしていく必要がある。	A	継続
		11.社会教育関係団体等の活動に支援	社会教育関係団体の認定・民間教育事業者の登録	スポーツ・生涯学習課	社会教育関係団体認定及び民間教育事業者登録をすることにより、市民の自主的かつ多様な学習活動を支援する。	<社会教育関係団体> 活動内容: 社交ダンス、華道、空手、手芸、コーラス等 登録件数: 168団体(H30.3.31現在) ※うちH29新規…5団体 <民間教育事業者> 講座内容: 押し花、料理、ピアノ、体操等 登録件数: 46講座(H30.3.31現在) ※うちH29新規…7講座	51,880	○成果 認定や登録を受けることにより、公民館使用料の減免が適用になる、1年を通じた講座開設が可能になる等、市民の自主的な学習の支援となっているといえる。 ●課題 団体のメンバーの高齢化や役員交代等の理由で、手続きに難航する団体も多い。申請方法や認定の基準などについて分かりやすい周知が必要である。	A	継続

基本方針	分野区分	事業名	担当課	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合評価	今後の方向性
Ⅱ 学びの循環のある地域を創る社会教育	社会教育のための基盤整備	11.社会教育関係団体等の活動に支援 南地区コミュニティ活動支援講座「南地区支援講座」	南公民館	南地区コミュニティ推進協議会の活動を支援することにより、コミュニティ活動をより一層充実した活発なものにする。	① 100点満点の笑顔とおもてなし！ ・TMG(トワダもてなしガールズ)の結成について ・TMGの活動について ② 落語 ～笑ってストレス解消～ ・講師の東北大震災チャリティ活動について紹介してもらい、短い落語を数本、最後に人情話「おかめの団子」を演じて頂いた。 ※2講座共にみなみ大学と共催で開催した。	16,000	○成果 十和田市で観光ボランティア活動をしているTMG(トワダもてなしガールズ)の活動について紹介してもらい、町内会でのボランティア活動を考えてもらうことを目的として行いました。また、落語では、地元の人材活用ということで、市内在住の方を講師として落語をしていただきました。 ●課題 目的は良いと思われたが、参加者が昨年度より少なかったことから、より魅力ある講座を検討していきたい。また、コミュニティと連携して広報を充実したい。	A	継続
		南地区コミュニティ活動支援講座「南地区防犯パトロール支援講座」	南公民館	南地区コミュニティ推進協議会の活動を支援することにより、コミュニティ活動をより一層充実した活発なものにする。	・軽スポーツのベタンク体験	6,000	○成果 冬でもできる屋内軽スポーツを楽しむことができ、日頃の運動不足解消と会員の交流が図られた。 ●課題 今後も、当該活動支援に適した講座内容を検討し防犯パトロールを安全・安心に行えるように引き続き支援して行く必要がある。	A	継続
		一本木沢ピオトープ協議会の活動支援	東公民館	一本木沢ピオトープ協議会は、地域住民・教育機関・行政の連携により、平成11年2月に発足した。当初、事務局は生涯学習課公民館係が担当していたが、平成14年から東公民館が担当することになり、協議会主催事業の円滑な実施を支援している。	一本木沢ピオトープ協議会の事務局を担当し、年間事業の運営のための事務を行う。 ◆三役会……4月17日(3名) ◆監査会……4月20日(2名) ◆理事会……5月24日(13名) ◆総会……5月24日(26名) ◆活用委員会……3回開催(28名) ◆こどもゆめ基金助成活動による 「一本木沢ピオトープ親自然体験」……4回 ①ナイトハイクホテル観察会……7月22日(61名) ②ザリガニ釣りに挑戦Ⅰ……7月29日(51名) ③ザリガニ釣りに挑戦Ⅱ……8月19日(36名) ④トンボ博士になろう……9月2日(13名)	0	○成果 今年度の親自然体験事業は、近隣小学校の低学年全員にチラシを配布したこともあり、4事業で定員120名を上回る161名の参加者があった。「ホテル観察会」と「ザリガニ釣りに挑戦」は今年度も多くの参加者があり、人気の事業として定着してきている。 ●課題 事業の運営がほとんど事務局に依存されているため、協議会メンバーの積極的な参加と役割分担が今後の課題である。	A	継続